

【大槌商工会】令和6年度経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》 A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	R6年度		実績	評価	次年度へ向けて
		目標	実績			
1. 地域の経済動向調査に関する事	①地域経済動向調査分析	1	0	未実施	D	
	②景気動向分析	4	8	小規模企業景気動向調査4回エネルギー価格・物価高騰等に伴う事業者への影響調査4回実施。	A	
2. 需要動向調査に関する事	①高齢者ニーズ調査の実施	1	0	未実施。	D	
	②インターネット市場調査の実施	2	0	未実施。	D	
3. 経営状況の分析に関する事	①分析事業者数	40	37	財務諸表未徴収のため実績値に含めないものもあるが概ね達成	B	
4. 事業計画策定支援に関する事	①DX推進個別相談会の開催	1	1	集団講習会1回（ECサイト開設セミナー）	A	
	②事業計画策定個別相談会の開催	1	17	専門家による個別指導17回	A	
	③事業承継セミナーの開催	1	1	県事業承継補助金説明会	A	
	④創業・後継者育成塾の開催	1	1	創業スクール実施。合計5者が参加	A	
	事業計画策定事業者数	12	17	経営革新計画2件他計画策定9件、補助金計画策定6件	A	
	創業計画・事業承継計画策定件数	4	4	事業承継計画策定2者、創業計画2者	A	
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	①ファローアップ対象事業者数	16	11	補助金採択事業者等11者に対して実施	C	
	②頻度（回）	80	31	同上	C	
	③売上増加事業者数	8	2	内部資料による集計	D	
	③経常利益0.5%以上増加事業者数	5	2	内部資料による集計	C	
6. 新たな需要に寄与する事業に関する事	①外部専門家による商品開発個別相談会の開催	1	3	専門家による個別指導3回	A	
	②マッチングイベントの開催	1	1	おおつちチャレンジフェスティバルの開催	B	
	③テストマーケティングの実施	1	1	おおつちチャレンジフェスティバルの開催	A	
	④商談成約事業者数	1	2	おおつちチャレンジフェスティバルの参加者	A	
	⑤SNS活用事業者増加数	5	5	大槌商工会青年部インスタアカウントフォロー者を基に集計。	A	
	⑥SNS活用事業者の売上増加率（%）	2	2	内部資料を基に計算	A	

評価検討会議コメント

令和5年と比較して、令和6年、今年とますます事業環境が厳しくなっていると感じている。消費行動の変化や公共工事の利益率の低い落受注によって、地域内消費の落ち込みによるものであると考えている。そこで行政に対しては地域事業者を守るためにも地域内購買の促進、配慮をお願いしたい。

応援券事業は町民の地域内消費の喚起にも、町外からの消費喚起にも貢献していると判断している。継続をお願いしたい。同時に応援券利用促進のため地域の事業者が積極的に情報発信していくことも必要である。

地域課題や成果の共有は、関係機関で積極的に行っていくべき。

地域の事業者が集客や販路拡大に意欲的に取り組む仕掛け、きっかけが必要である。それは行政や商工会が単独で行うのではなく、事業者を巻き込んで企画検討を行うべき。地域内の連携はそのような仕組みがあればできてくるのではないかと。今後、産業振興課と商工会青年部の間で課題の共有や連携した取り組みに向けた話し合いを行いたい。